

一ノ宮地区の新交通システム実証実験を継続

○新交通システム運行事業費 1,099万9,000円

【概要】 市内の公共交通空白地域のうち、高齢者数の最も多い一ノ宮地区において、地域づくり協議会と協働して実証実験を継続するとともに、地域が主体となった新交通システムの他地域への展開についても検討を行うもの。

質疑 一ノ宮地区の新交通システム実証実験の検証に基づいた予算編成となっているのか。また、費用対効果についての検討は行っているのか。

答弁 アンケートや地域の声に基づいて、運行する曜日や1日当たりの運行便数などを変更しながら実証実験を実施している。令和4年度予算については、令和3年12月から実施している運行形態に基づいたものとなっている。現在、実証実験中であり、今後もいろいろな形を試行していきたい。併せて費用対効果についても検討を進め、鈴鹿市地域公共交通計画策定後に手引書などをまとめる中で、全市的な展開も含めて整理していきたい。



一ノ宮地区乗合ワゴン実証実験

空き家対策を実施

○空き家対策費 2,443万7,000円

【概要】 「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく「鈴鹿市空家等対策計画」に関する施策を実施するもの。

質疑 前年度より大幅に増額となったのはなぜか。

答弁 1点目は、平成29年に策定した「鈴鹿市空家等対策計画」の計画期間が令和5年度までとなっていることに伴い、令和5年度に計画の改定を予定している。その準備として、令和4年度に市内全域を対象に空き家の実態調査を業務委託で実施するための経費として2,000万円を計上している。

2点目は、空き家をもたらす課題解決に向けて、危険な空き家である「特定空家等」の除却を促進するため、所有者などが空き家を除却する際に要する経費の一部を補助する「特定空家等除却費補助金」を令和4年度に創設し、その予算として150万円を計上している。



危険な空き家